

移行期間における小学校外国語科の取り組み —ICT の効果的な活用について—

喜多容子 (KITA Yoko)
鳴門教育大学

要約

学習指導要領が改訂となり、小学校では平成 32 年度からの新学習指導要領全面実施に向けて、本年度 (H30 年度) から移行措置期間が開始された。鳴門市では、早くから教育委員会支援室が「学習指導要領改訂に伴う外国語教育の早期化・教科化にむけた検討委員会」を設置し、「外国語活動年間指導計画・活動例 移行期間における学習内容」を作成し、鳴門市内小学校の移行期間における外国語学習への支援を行っている。

本報告は、鳴門市教育委員会が作成した「外国語活動年間指導計画・活動例 移行期間における学習内容」にもとづき行った、ティームティーチングによる小学校高学年外国語学習における授業実践の内容をまとめたものである。特に、複式学級の小学校外国語科における ICT の効果的な活用方法についてその詳細を報告するとともに、移行期における小学校外国語科学習内容について見えてきた課題についても示唆するものである。

(キーワード : 小学校外国語科, 移行期間, ICT)

1. はじめに

学習指導要領が全面改訂され、平成 32 年度から、小学校 3・4 年生では 35 単位時間程度の「外国語活動」が、5・6 年生では 70 単位時間程度の「外国語科」が実施されることとなった。これに向けて、平成 30 年度から、2 年間の移行期間がスタートした。移行期間では、「外国語活動」を年間 15 単位時間程度、「外国語科」を年間 50 単位時間程度、実施することとされている。これと併せて、本年度より文部科学省から、小学校 3・4 年生の「外国語活動」には“Let's Try! 1・2”が、5・6 年生には“We can! 1・2”が各学校に配布された。5・6 年生に配布された“We can! 1・2”は、平成 29 年度まで各学校で活用されていた“Hi Friends! 1・2”が合本されたものとなっている。

佐藤 (2018) は、移行期の高学年では、新学習指導要領に設定されている外国語科の内容の一部を扱いながらも、2 年後の教科としての本格的な実施に向けて段階的に準備を進めることの重要性を述べている。

ここでは、移行期間における「鳴門市外国語活動年間指導計画」にもとづき実践した 5・6 年生の外国語学習の報告の中で見えてきた課題について示唆し、今後の外国語学習について配慮すべき点について提案したいと考える。

2. 新学習指導要領における外国語科と ICT 活用の推進について

文部科学省は、小学校高学年における外国語科の目標を次のように設定している（文部科学省，2018,p.67）。

外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方を働かせ、外国語による聞くこと、読むこと、話すこと、書くことの言語活動を通して、コミュニケーションを図る基礎となる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

加えて、小学校学習指導要領解説外国語活動・外国語編では、育成を目指す資質・能力の三つの柱である「知識及び技能」、「思考力・判断力・表現力等」及び「学びに向かう力、人間性等」のそれぞれに関わる目標を明確に設定している。外国語における「何を理解しているか、何ができるか」という「知識及び技能」の習得に関わる目標として掲げられているのが次の内容である（文部科学省，2018,p.69）。

外国語の音声や文字、語彙、表現、文構造、言語の働きについて、日本語と外国語の違いに気付き、これらの知識を理解するとともに、読むこと、書くことに慣れ親しみ、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて活用できる基礎的な技能を身に付けるようにする。

その中で注目すべきは、高学年の外国語科における「読むこと」、「書くこと」の扱いである（文部科学省，2018,p.70）。

高学年の外国語科では、中学校で身に付けるべき実際のコミュニケーションにおいて活用できる技能の基本的なものを身に付けることとなる。ただし、「読むこと」、「書くこと」については、中学年の外国語活動では指導しておらず、慣れ親しませることから指導する必要がある、「聞くこと」、「話すこと」と同等の指導を求めるものでなることに留意する必要がある。

新しく導入された「読むこと」、「書くこと」については、文字指導が導入されるとしても、あくまでも文字に慣れ親しませることが目的であり、中学校における外国語科におけるライティングやリーディングスキルの向上を目指すような指導ではない、ということに留意する必要がある。

さらに、内容の取扱いとして配慮すべき点として、ICT 活用に関する事項が以下のように明記されている（文部科学省，2018,p.131）。

児童が身に付けるべき資質・能力や指導の実態、教材の内容などに応じて、視聴覚教材やコンピューター、情報通信ネットワーク、教育機器などを有効利用し、児童の興味・関心をより高め、指導の効率化や言語活動の更なる充実を図るようすること。

このことから、外国語科では、児童の実態にあわせ、コミュニケーションの目的や場面、状況を意識した活動を展開するにあたり、デジタル教材をはじめとする ICT を効果的に活用することが期待されていることが分かる。

3. H 小学校における外国語学習の実態と ICT の活用状況

(1) ICT 活用の推進について

鳴門教育大学学園都市化構想実施協力校である鳴門市 H 小学校では、学級担任が主となり外国語学習に取り組んでいる。月に 4 回程度、ALT が来校し学級担任とチームティーチングの形態で外国語学習を実施している。本年度は、鳴門教育大学英語科コース教員が、JTE として学級担任とともに 5・6 年の外国語学習の授業を行っている。

小規模校であるため、低学年・中学年・高学年それぞれが複式学級となっている。高学年 5・6 年生の複式学級は、5 年生 2 名、6 年生 9 名の計 11 名が在籍するクラスとなっている。小学校 1 学年から 6 学年までの外国語学習の指導体制は次のように設定されている。少人数の複式学級における諸問題の解決の一つの手立てとして、ICT の効果的な活用を模索してきた。2017 年からは、鳴門教育大学と連携し、「外国語学習における ICT の効果的な活用」に関する事業を進めている。

表 1 小学校外国語学習指導体制 (H 小学校の場合)

学 年	小1	小2	小3	小4	小5	小6
	英語活動(年間 10 時間)		外国語活動(年間 35 時間)		外国語活動(年間 70 時間)	
指 導 体 制	学級担任, ALT,		学級担任, ALT,		学級担任, ALT (JTE: 鳴門教育大学英語科 コース教員)	

注: ALT の訪問は月 4 回程度, JTE の訪問は 3 回程度

(2) 外国語学習における ICT の活用状況について

鳴門市は、ICT の効果的な活用を推進しており、市内各小学校・中学校に 2014 年より随時、電子黒板を導入し、全教職員に対しての講習会も開催した。これを受けて、H 小学校にも各教室に電子黒板が常備されており、付属 PC には、デジタル教材 “Hi Friends! 1・2” 及び新学習指導要領対応外国語教材 “We can! 1・2” がインストールされている。

外国語学習における ICT の活用状況としては、デジタル教材 “Hi Friends! 1・2” 及び “We can! 1・2” を毎時間使用し、授業を行っている。デジタル教材に納められている歌・チャンツ・ビデオクリップ等は、外国語学習を進める上で、効果的に活用されている。さらに、鳴門教育大学英語科コース教員が JTE として外国語学習に参加する際は、パワーポイントで作成したオリジナル教材を、文字に親しませる活動で導入している。さらに、タブレットを児童の活動の振り返りや中間評価で活用するなど、ICT の効果的な活用を模索している。

4. 授業実践

(1) 授業実践1

We can 2 Unit 4 “I like my town.”

(表2 移行期間の鳴門市外国語活動 年間指導計画参照)

この単元は、地域にある施設、または自分たちの町にはない施設についての表現を学ぶとともに、自分たちの町に是非あって欲しい施設などをその理由を述べて表現することを目標としている。活動の最終段階では、2人組で協働し自分の町のミニポスターをつくり、クラスで発表した。ポスター作成時には、施設の英語名が書かれた一覧表を見ながら、自分たちが欲しい施設について、自分たちで単語・ことばを選び、書き写す活動を展開した。自分が伝えたい言葉を自らが選んで書き写すことにより、文字への親しみを感じることができるのではないかと思われる。

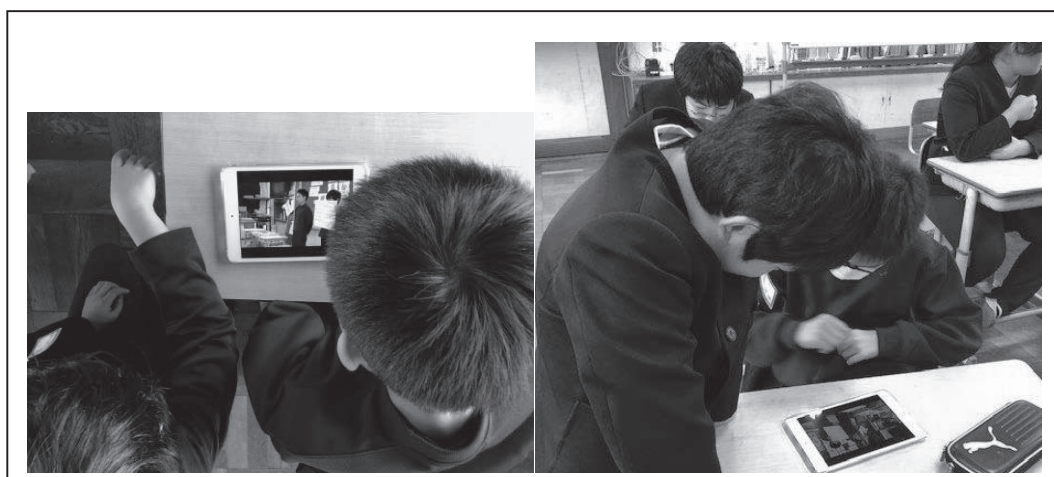


図1 タブレットを活用し、活動の振り返りをする児童の様子

ICT活用方法とその成果

「自分たちの理想の町」の発表の様子を撮影し、振り返り活動において自分たちの発表の様子を視聴し、感想を述べ合った。自分たちの発表の様子を見るのは初めてであったため、恥ずかしそうにする児童もいたが、「アイコンタクトはできているが、自分の声は思ったより小さかったので、次はもっと大きな声で発表した方がいいなあ。」や「全部覚えて言えたからばっちりだなあ。」など様々な振り返りができていた。タブレットICTを活用した授業のメリットは、活動後の即座のフィードバックが期待できるという点であると言える。

(2) 授業実践2

We can 2 Unit 7 “My Best Memory”

(表1 移行期間の鳴門市外国語活動 年間指導計画参照)

この単元では、小学校で経験した行事を英語で学習し、お互いに最も思い出に残る行事についてたずねたり、答えたりして小学校生活を振り返る。さらに、絵や写真を添えて思い出のアルバムを作成し、自分の一番の思い出となる行事について、理由や気持ちを添えて伝え合うことを最終目標とする。この単元の活動では、過去形の不規則動詞が導入されるが、あくまでも「小学校での思い出を語りたい」という思いを実現するための手段として用い、音声中心の学習を展開する。

外国語活動指導案

H 小学校5・6年

12月19日(水) 5校時

単元 Unit-7 Lesson 3 My Best Memory 小学校生活・思い出・行事 (3/8時間)

本時の目標 学校行事を表す表現が分かり、感想を伝え合う。

時間	児童の活動	指導者の活動及び留意点		教具等 評価規準 (方法)
		HRT	E	
2	<ul style="list-style-type: none"> ・挨拶をする。 <p>【Let's Chant】 What's your best memory? P.51</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・全体に挨拶をし、個別に数人の児童に挨拶をする。 ・本時の流れを児童と確認をする。 ・リズムに気を付けて、いっしょにチャンツをいう。 <p>・Let's chant together.</p>	デジタル教材	
<p>Tell me the best memory from your school life. School Trip, school Trip, that's my best memory. I enjoyed eating and shopping with my friends.</p> <p>Tell me the best memory from your school life. Music Festival, Music Festival, that's my best memory.中略</p> <p>I like my friends. I like my teachers. Thank you for your help and wonderful memories.</p>				
7	<p>【Warm-up activity】</p> <p>○Small Talk 1 週末の思い出を聞く。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・HRT や JTE がどんなことを楽しんだかを発表する。 <p>○Small Talk 2</p>	<p>○Small Talk 週末の思い出を話す。</p> <p>パワーポイントの画面を見せながら、</p> <p>T1: Hi, I went to Kagawa. T2: You went to Kagawa? T1: Yes! I enjoyed shopping. T2: You enjoyed shopping? That's great! T1: I ate <i>Udon</i>. I enjoyed eating <i>Udon</i>. How about you? T2: I enjoyed watching TV. T1: What TV program? T2: I enjoyed <i>Segodon</i>. It was great!</p> <p>○Small Talk</p>	パワーポイント教材	

	<p>・思い出のアルバムについての話を聞き、主人公がどのようなことをしたり、感じたりしたかをペアで確認する。</p>	<p>Twinkie の思い出のアルバムについて話す。 感想をいれて話す。</p>	
<p>Today's goal: 思い出の学校行事について、感想を伝え合おう。</p>			
5	<p>【Review1】 ○集中力ゲームで行事の名前の復習をする。聞こえてきた順番にカードを素早く並べる。</p>	<p>T: Let's play <i>Shuchuryoku</i> Game. Listen to the words and put the picture cards in order. ・最初は3種類程度のカードを並べさせ、少しずつ種類を増やす。</p>	カード
8	<p>【Activity1】 ○Who am I? クイズ 学校内の先生の思い出の行事を聞き、誰かを予想する。</p>	<p>・あらかじめインタビューしていた内容を HRT や JTE が読む。 ・ヒントとなる情報を少しずつパワーポイントで表示する。</p>	パワーポイント教材
15	<p>【Activity2】 ○Let's Talk ・HRT や JTE からの質問に答える形で、各行事に合う感想をいう。 ・思い出の学校行事とその時の気持ちを伝え合う。 S1: What's your best memory? S2: My best memory is the school trip. It was exciting.</p>	<p>T : Now, look at these cards. This is a picture of sports day. Was it exciting? Was it fun? This is a picture of the music festival. Was it? T: This is a picture of the school trip. It was...? Ss: It was fun./ exciting/ nice. ・最初は指導者がそれぞれの行事で感じる気持ちを表す英語を言い、慣れてきたら児童が行事に合う英語を言うようにする。 ・ペアになり、それぞれの思い出の学校行事について感想を伝え合うようにいう。 ◎学校行事について感想を伝え合っている。 〈行動観察・振り返りカード点検〉</p>	<p>パワーポイント教材 ◎学校行事について感想を伝え合っている。 〈行動観察・振り返りカード点検〉</p>
5	<p>【Activity3】 ○Let's Read and Write</p>	<p>T: Please choose the word from the word box and write it down. 自分の使いたい言葉を選んで、ワークシートに書き写すように伝える。</p>	<p>デジタル教材 ワークシート</p>
3	<p>【振り返り】 ・本時の活動を振り返り、リフレクションシートに記入する。 ・挨拶をする。</p>	<p>・児童の良かった点を伝える。 ・挨拶をする</p>	リフレクションシート

ICT 活用方法とその成果

本時の取り組みでは、自分の一番の思い出の学校行事を選び、感想を伝え合う活動で、文字情報を添えたイラストを ICT 教材で提示し、音声中心の学習を進めた。I enjoyedIt was fun など過去形が多く登場したが、文字情報を添えたイラストを手掛かりにお気に入りの行事とそれに対する感想を述べ合うことができた。

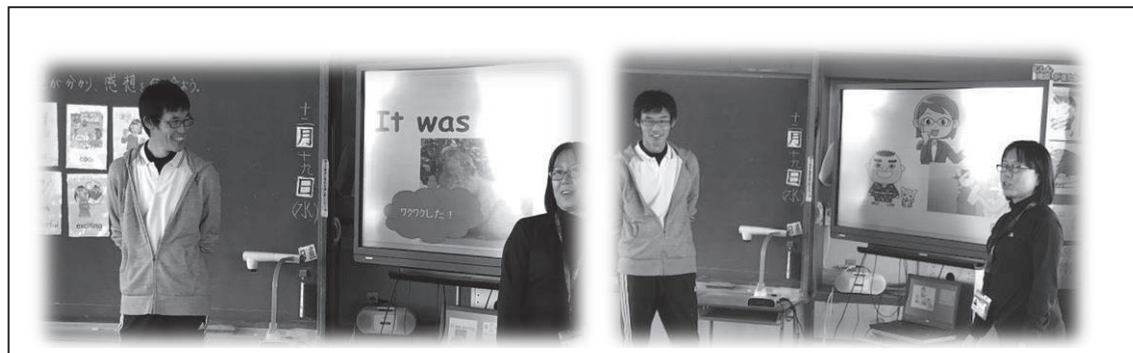


図2 ICT の活用の様子 ～思い出の行事について、感想を伝え合う場面練習～

今日のめあてをふりかえろう	感想 (心に残ったことや気づいたこと、新しい発見など)	感想 (心に残ったことや気づいたこと、新しい発見など)
【めあて】学校行事を表す表現が分かり、感想を伝え合う活動に進んで参加した。	感想を伝えるときの英語での言い方が	感想を伝え合ったり学校の行事を表す表現が分かりました。学校の行事の言
学校行事の言い方がわかった。	分かった。感想を言うときの英語にな	い方が分かったり学校の思い出
思い出の学校行事について、感想を伝え合った。	れたいと思いました。もっと上手に	について話したり感想を伝え
	言えるようにがんばりたいと思	えたりして表現が分かった。
	いました。	

図3 活動後の児童の振り返り ―振り返りシートの感想より―

5. 研究の成果と課題

(1) 成果

振り返り活動において ICT の活用は特に有効であると思われた。子どもたちは自分たちの発表の様子を ICT 教材の映像で確認し、それぞれ、良かったところや改善すべきところについて考えることができた。発表したペアにのみ自分たちの発表の様子をタブレットの映像を見せ、JTE を交えて 3 人で意見交換を行った。JTE は、タブレットの画面を見せながら、次回の発表に生かせる肯定的なフィードバックを行うことができた。活動後に即座のフィードバックが期待できるという、タブレット型 ICT を活用する最大のメリットを生かすことができた。

(2) 今後の課題

移行期間がスタートし、高学年では、「話すこと」、「聞くこと」に加えて、「読むこと」、「書くこと」などの文字学習が導入されている。デジタル教材を効果的に活用したH小学校の外国語学習では、「読むこと」、「書くこと」における指導では、あくまでも「文字に親しませる」ということに重点をおいている。そこで、中学年の外国語活動を通して十分に音声で慣れ親しんだ簡単な語句や基本的な表現について、アルファベットの読み書きや活動内で扱う初歩的な語や文を読んだり書き写したりすることを主としている。また、小学校の外国語学習で配慮すべきことは、中学校のようなスキル指導ではなく、児童が「もっと読んでみたい、書いてみたい」という情緒面をしっかりと育てることである。H小学校外国語活動における文字指導では、担任は、「文字にこころをのせて伝える」ということを常に心がけ、時間や場所を超えて伝えることができる「文字のよさ・大切さ」を実感できる授業を展開している。

しかし、新教材には、多くの文字情報があり、1単語あたりの文字数が多い単語や、“Hi Friends! 1・2”に比べると一文も長くなっており、児童によっては、読む手がかりをつかむことが難しい場面が見られた。そこで、文字情報だけに頼ることなく、絵や写真などを添えたカードをICT教材で提示し、それらを手がかりにして、学習を進めていくことができるように支援することが重要であると感じた。また、音声で十分に慣れ親しんだ語句や基本的な表現について、児童の外国語学習の実態に応じた内容で、読んだり書いたりする活動へとつなげることを配慮する必要がある。

引用文献

- 佐藤美智子(2018) 「いよいよ移行期間！間違えない外国語科の基礎知識」『小6教育技術』5月号, 30-34
- 文部科学省(2018) 『小学校学習指導要領(平成29年告示) 解説外国語活動・外国語編』
東京：開隆堂

参考文献

- 伊東治己(2013) 「外国語活動における文字の扱い再考-文字を使つての指導と文字指導を区別しよう-」『鳴門教育大学小学校英語教育センター紀要』第4号, 27-38
- 佐藤美智子(2018) 「教科横断的な外国語の授業づくり」『小6教育技術』9月号, 45-49
- 菅正隆 (2017) 『アクティブ・ラーニングを位置づけた小学校英語の授業プラン』東京：
明治図書

表 1-2 移行期間の鳴門市外国語活動 年間指導計画 (抜粋)

平成30年度 第6学年 外国語活動 年間指導計画 (鳴門市版) [70時間]										
月	使用教材	単元	時数	表現 (児童の発話等)	語彙 (児童が使う語彙例)	単語上の原書	配当時間	単元目標 (現行の外国語活動の観点)	主な活動 ※留意点	
9月	新6	5	8	表現 (児童の発話等) I went to (my grandparents' house). I enjoyed (fishing). I ate (the blue sea). It was (fun/ exciting/ beautiful/ delicious).	vacation, vacation, zoo, 動物の道 自來水 (spring, fountain, sea, lake), 動作 (fishing, camping, fishing)		8	(コ) 夏休みに行った場所や食べ物、楽しんだこと、感想などを英文表現に慣れ親しむ。また、夏休みの思い出について簡単な単語や基本的な表現を推測しながら読んで、例を参考に書いたりすることに慣れ親しむ。 (キ) 英語の書き方の規則に気付く。	夏休みの思い出を、例を参考に書く。 思い出を紹介し合う。 ※ My Summer Vacation!。夏休み明けに行う単元のため、進度の具合によっては、他の単元と入れ替えてもよい。	
10月	HP2	6	5	What time do you get up? 一日の生活	動作 (get up, go to school/ bed)	419 514	5	(コ) 進んで、自分の一日を紹介したり、友達の一日を紹介したりしようとする。 (一) 一日の生活について書いたり答えたりすることに慣れ親しむ。また、簡単な表現を書き写すことに慣れ親しむ。 (カ) 世界には時差があることに気付く。 (キ) 世界には時差があることに気付く。様々な生活が営まれていることに気付く。	自分の一日をサポートをともに、一日の生活について紹介し合う。簡単な表現を書き写してボスターを作成する。	
11月	新5	9	8	Who is your hero? おごがれの人	hero, so, because, 状態・気持ち (active, cool, fantastic, friendly, gentle, kind, brave, strong, tough)	2-13	7	(コ) 自分が憧れたり尊敬したりする人について自分の意見をまとめて紹介し、各抒さず、表現に慣れ親しむ。 (一) 本人、友達の長所や短所を挙げて紹介したり、おごがれの人、おごがれの人であることを推測し、例を参考に書くことに慣れ親しむ。 (カ) 日本語では、書き方に違いがあることに気付く。	憧れたり尊敬したりする人について、自分の意見をまとめて紹介し、各抒さず、表現に慣れ親しむ。 憧れたり尊敬したりする人について、おごがれの人、おごがれの人であることを推測し、例を参考に書くことに慣れ親しむ。	
		3	8	He is famous. She is great. 人物紹介	famous, not, fresh, old, 身の回りの物 (racket, computer, violin, drum)	2-13	2	(一) 自分や第三者ができることやできないことを英文表現に慣れ親しむ。また、例を参考に紹介する文を書くことに慣れ親しむ。 (カ) 世界には様々な文化や習慣があることに慣れ親しむ。	自分や第三者についてできることやできないこと、おごがれの人、おごがれの人であることを推測し、例を参考に書くことに慣れ親しむ。	
		8	4	What do you want to be? 職業の夢	I want to be a teacher. What do you want to be?	職業 (doctor, cook, farmer, florist, singer, firefighter, soccer player, bus driver, cabin attendant, vet, zookeeper, comedian, baker, dentist, artist)	5-13 6-18 6-18	4	(コ) 進んで、自分の将来の夢について交流しようとする。 (一) どのような職業に就きたいか尋ねたり答えたりする表現に慣れ親しむ。 (カ) 世界には様々な文化や習慣があることに慣れ親しむ。 (キ) 英語の書き方の規則に気付く。	将来の夢について、クイズ形式で答えあわす。 どのような職業に就きたいかインタビューする。
		7	8	My Best Memory 小学生生活・思い出・行事	What's your best memory? My best memory is from (my favorite festival). We (went to (Kyoto)/ ate (Japanese food)/ saw (gold temple)/ enjoyed (the trip)).	best, memory, 行事 (sports day, school trip, field trip, music festival, sports day, class meeting, school festival, sports meet, entrance ceremony, graduation day)		8	(コ) 思い出の学校行事について伝え合おうとする。 (一) 学校行事について英文表現に慣れ親しむ。また、学校行事について簡単な単語や基本的な表現を推測しながら読んで、例を参考に書いたりすることに慣れ親しむ。 (カ) 英語の書き方の規則に気付く。	思い出の学校行事について、世界には様々な学校行事があることを知る。 思い出のアルバムを作って、それをもとに小学校の思い出を紹介することを、例を参考に書く。
12月	新6	9	6	中学校生活・部活動	junior, high, sn, event, uniform, best	7.0	8	(コ) 中学校の部活動や学校行事などについて自分の考えを英文表現に慣れ親しむ。また、部活動や学校行事について簡単な単語や基本的な表現を推測しながら読んで、例を参考に書いたりすることに慣れ親しむ。 (カ) 英語の書き方の規則に気付く。	中学校生活や部活動について、世界には様々な学校行事があることを知る。 思い出のアルバムを作って、それをもとに小学校の思い出を紹介することを、例を参考に書く。	

授業実践2で扱った単元